様式３(2020.08改)

作成日　令和　3年　12月　8日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391100225
事業所名	プレミアムグループホームフレンズハウス小川

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	法人と事業所共に町内会に加入し、地域の福祉や防災の拠点となっている。コロナ禍ではあるが、回覧等で得た情報を基にタイミングや感染対策をしながら、地域防災センターでの防災訓練や神社の行事などに参加している。事業所内の認知症カフェの拠点地にユニオンチャイルドとして児童発達支援や放課後デイサービス事業を立ち上げている。認知症カフェは多目的室に移し、現在は状況を見ながら開催をしている。子ども110番の家や小・中学校・保育園などとの交流は、再開や実施を考慮している。日々の散歩で行き交う地域の方々と挨拶を交わしたり、地域のごみ拾いは継続して行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	地域の代表者や地域包括支援センター職員、生活相談員、認知症対応型共同生活介護について知見を有する方の参加を得て年6回、新型コロナの感染状況に応じて書面開催も取り入れながら開催している。参加者からの情報や意見、提案等は会議の中で聴取したり、書面開催時はファックスや電話で聴取し、職員会議などで協議してサービスの向上に活かしている。議事録は玄関にファイリングし自由に閲覧できるようになっている。より多くの家族の参加を得られるために、事前の意見聴取や会議報告をしていく方向にある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	新型コロナ感染予防の観点からメールやファクスなど書面での連絡が多くなっているが、介護保険更新手続きや事故報告など必要な手続きや報告には出向いている。名古屋介護ネットを毎日確認し連携を図っている。リモートを利用して研修を行ってる職員もいるが、今まで中止となっていた行政の研修が開催され、参加する予定にしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	入居者からは日常のケアの中から聴取し、家族からは面会時等に意見や要望を聞いている。また、毎月管理者は家族と電話やラインを利用して情報交換をしている。要望は出来る限り迅速に対応し反映できるように努めている。得た情報は職員ノートに記録しケアに活かしている。コロナ禍で面会が規制されていたが、現在は予約制で感染対策をして制限なしの面会が可能となっている。フレンズ通信を2か月毎に発行し家族の安心につなげている。意見箱を設置し、意見や要望などを述べやすい環境を整えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

運営推進会議については、新型コロナの感染状況に応じて対面での開催や書面開催も取り入れながら行っている。コロナ禍ではあるが、回覧等で得た情報を基にタイミングや感染対策をしながら地域防災センターでの防災訓練や神社の行事などに参加したり、地域性を活かし散歩をする中で四季の移ろいを感じるようにしている。認知症カフェも状況を見ながら開催をしている。家族との面会は、予約制で感染対策をして制限なしの面会が可能となっている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○									